

設計プログラムのインストール手順  
(フローティングライセンス)

(各設計プログラム共通)



## 目 次

1. フローティングライセンス概要 .....	1
2. 動作環境 (License-JR) .....	1
3. インストールをはじめる前に .....	2
4. 初めてのインストール・再登録手順 .....	3
5. アンインストール・登録削除 .....	7
6. License-JR のバージョンアップ .....	10
7. 設計プログラムの追加 (ライセンスの追加) .....	11
8. プログラム使用時の注意 .....	12
参考) Windows ファイアーウォール設定画面の呼び出し方 .....	15

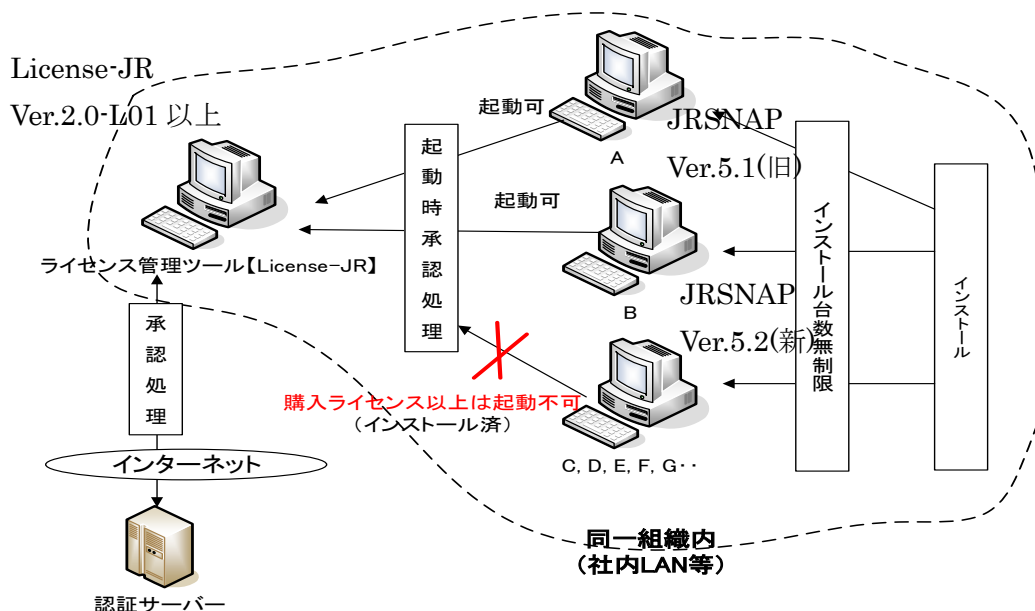


本書は、各設計プログラムのライセンスに関する情報を弊社が管理する認証サーバーへ登録、削除及び設計プログラムのインストールを行うまでの手順書です。(各設計プログラム共通・フローティングライセンス時)。

## 注 意

- ライセンス管理ツール【License-JR】(以後、License-JR と記述)をインストールしたPCの破棄等を行う前には、必ずLicense-JRの完全削除を行ってください(手順の詳細は後述ご参照)。そうしない場合は、ライセンスを別PCへ移行することができなくなります。
- VePPシリーズ、VePP-SCを使用する場合はLicense-JR Ver.2.0-L01以上が必要です。
- ネットワークプロファイルがゲストまたはパブリックの場合は使用できません。

### 1. フローティングライセンス概要



### 2. 動作環境 (License-JR)

- OS : Windows11  
(.Net Framework 4.7.1 以上が有効であること。)  
設計プログラムにつきましては、各設計プログラムのマニュアルを参照してください。  
(注意) 設計プログラムの実行は、別に.Net Framework 3.5 も必要になります。)
- 画面解像度 : 1024×768 以上
- メモリー容量 : 使用する設計プログラムによる。
- HDD 容量 : 使用する設計プログラムによる。

その他条件 : License-JR はインターネットへ接続できる環境が必要となります。また、各設計プログラムは License-JR へ通信するため、LAN 接続されている必要があります (ネットワークプロファイルがゲストまたはパブリック以外である事)。さらに、各設計プログラムをインストールする前に必ず License-JR をインストールし、起動させてください。

1 台の PC 上で、複数のユーザーアカウントでの同時起動には対応していません。

※ License-JR と設計プログラムは同一 PC にインストールすることができます。

注意)

- インストールが正常に行えない、設計プログラムが正常に動作しない場合など、動作がおかしい場合は別途 .Net Framework 3.5 および 4.5 (VePP シリーズでは 4.5.2) 以上をインストールする必要があります。
- Net FrameWork のバージョンと Windows バージョンの関係について  
.Net FrameWork は Windows Update により最新版がインストールされます。Windows Update を実施していない等の場合は、Windows のバージョンにより、インストールされていない場合があります。以下を参考にしてください。

Windows バージョン	.NetFrameWork3.5	.NetFrameWork4.6(4.8)
Windows10	あり (有効化必要)	あり (4.6) 4.7.1 へは WindowsUpdate が必要
Windows11	あり (有効化必要)	あり (4.8)

### 3. インストールをはじめる前に

以下の資料 (ファイル) を入手しておく必要があります。

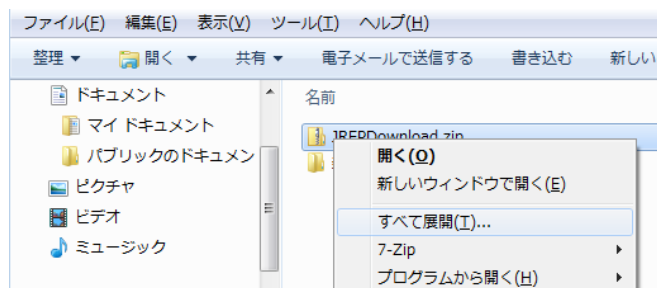
- ① 「ライセンス番号証書 (お客様用)」  
(License-JR 用と各設計プログラム用の 2 種類)
- ② 認証ファイル (1 ファイル・ライセンス番号証書と合わせて電子メールで送られます。)
- ③ インストールプログラム

「License-JR のライセンス番号証書 (お客様用)」記載のダウンロードアドレスから License-JR を、各設計プログラムのライセンス番号証書 (お客様用)」記載のダウンロードアドレスからは各設計プログラムをダウンロードしてください。

※入手したファイルが圧縮ファイルの場合)

入手したファイルが圧縮ファイル (拡張子が .ZIP) の場合は先に解凍作業が必要です。以下の手順で解凍作業を実施してください。

- ① エクスプローラー画面より入手したファイルを右クリックで選択してください。
- ② 「全て展開」を選択してください。



- ③ 展開先を確認し、「すべて展開」を選択してください。

#### 4. 初めてのインストール・再登録手順

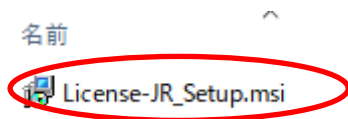
インストールは、License-JR と各設計プログラムの 2 種類のインストールが必要です。また、インストールの際は、インストールプログラムの他に販売元より配布する ライセンス番号証書が必要となります。また License-JR の場合はそれとは別に 認証ファイルが必要となります。

##### 1) License-JR のインストール

インターネットへ接続できる PC に License-JR をインストールしてください。

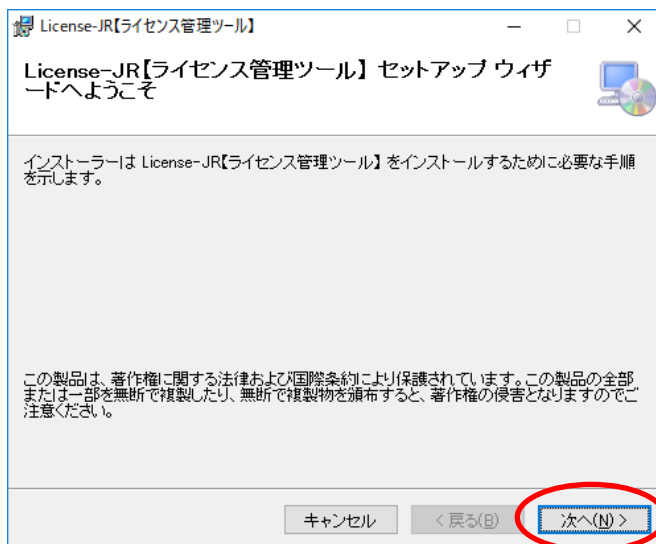
License-JR のインストールはユーザー数に関係なく 1 回のみです。

- ① 入手したプログラムを実行し、メッセージに従ってインストールを実施してください。(ファイル名は出荷時期により変更されます。)

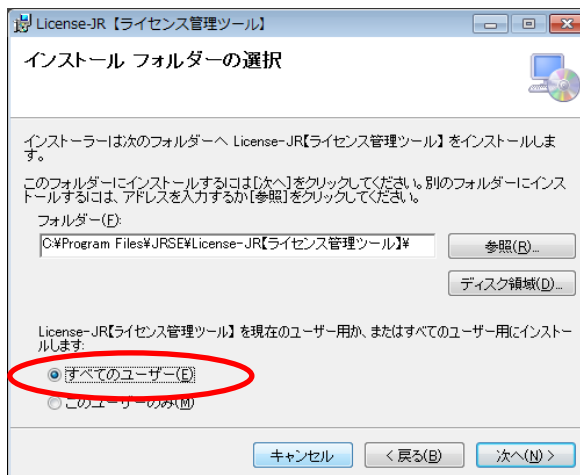


または「License-JR\_InstPack.EXE」を実行してください。

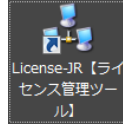
- ② 以下の画面で「次へ」を選択してください。



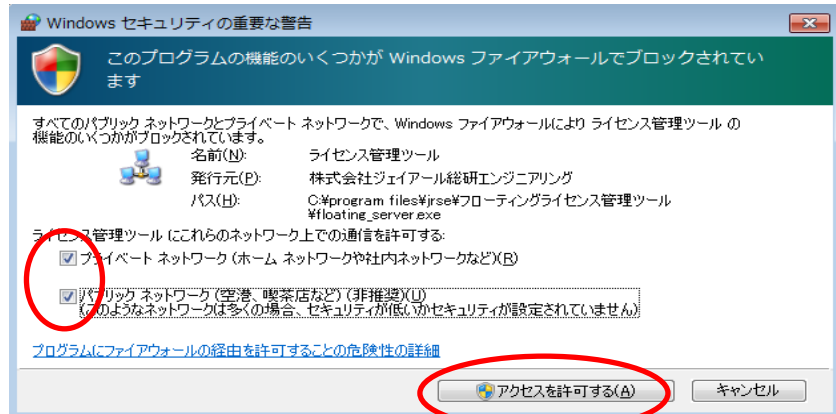
- ③ 以下の画面では左下の「すべてのユーザー」を選択した後、「次へ」を選択し、以後はメッセージに従いインストールを進めてください。



- ④ インストールが完了しましたら、License-JR を起動してください。

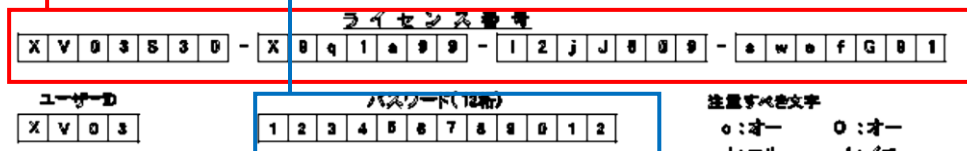
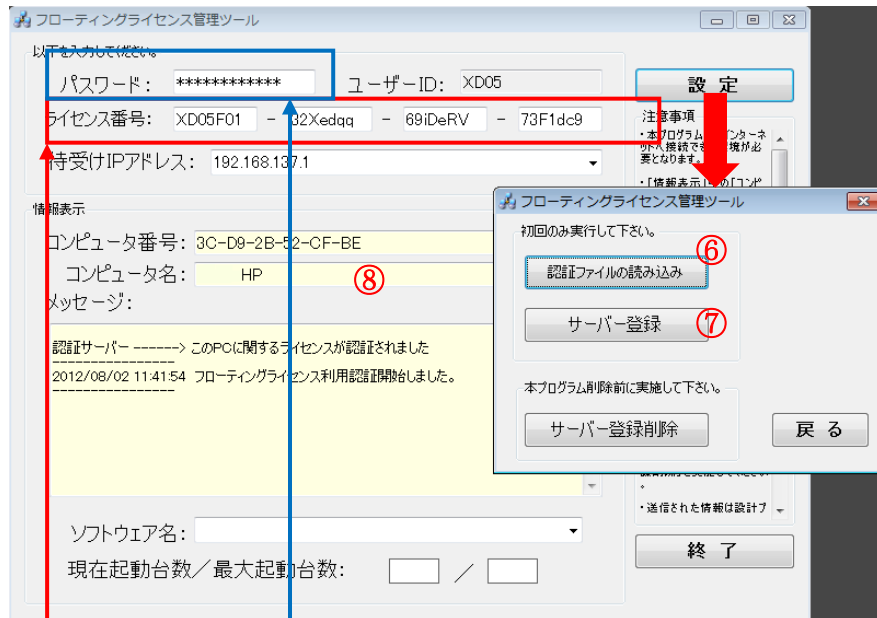


**注意)** 「このプログラムの機能のいくつかが Windows ファイアーウォールでブロックされています」(Windows7 の場合)\*1 のメッセージが表示された場合は、 にチェックを入れ、「アクセスを許可する」を選択してください。また、Windows ファイアーウォール以外のセキュリティソフトウェアがインストールされている場合は、そのソフトウェアが警告を發します。その際は、必ず通信を許可してください。



\* 1 Windows の他バージョンの場合は「参考) Windows ファイアーウォール設定画面の呼び出し方」を参照してください。

- ⑤ 起動したら「パスワード」、「ライセンス番号」を入力してください。この際、設計プログラムのライセンス番号を入力しないようにしてください。





- ⑥ 画面右上の「設定」を選択し、「認証ファイルの読み込み」を選択してください。ファイル選択画面が表示されますので、配布した認証ファイル（主に「〇〇認証ファイル.dat」）を選択してください。
- ⑦ 再度「設定」を選択し、「サーバー登録」を選択してください。認証サーバーへ License-JR の登録が実施され、完了すると画面が閉じます。残った画面の「メッセージ」欄で認証が完了したことを確認してください。
- ⑧ 各設計プログラムのインストールをはじめる前に、情報表示中の「コンピュータ名」に表示されている名称を控えてください。各設計ファイルのインストール時に入力が必要となります。
- ⑨ 以後、License-JR は必ず起動しておいてください。

2) 各設計プログラムのインストール

**注意）**セキュリティソフトウェアがインストールされている場合は、インストール中や起動時に警告を発します。その際は、必ず通信を許可してください。

- ① License-JR が起動している事を確認し、その画面中に表示されている「コンピュータ名」を控えてください。
- ② 提供された設計プログラムのインストールプログラム、(設計プログラム名・バージョン)\_InstPack\_(提供日).EXE を起動してください。



- ⑦ 先に「OK」を選択した場合、引き続き設計プログラムのインストールが開始されます。設計プログラムのインストールメッセージにしたがって、操作を進めてください。

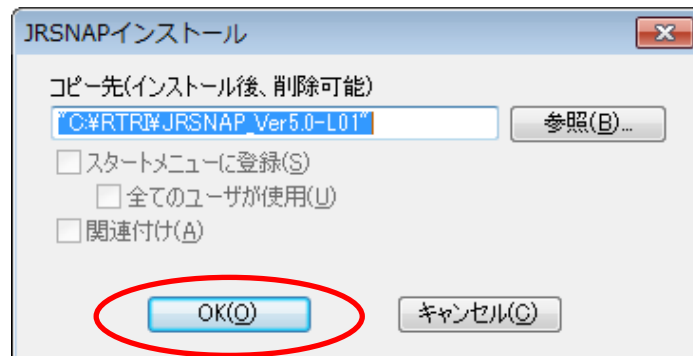
## 5. アンインストール・登録削除

License-JR をインストールした PC の変更等で、License-JR をアンインストール（情報の削除）する場合、及び設計プログラムのアンインストールについて以下の手順で実施してください。

※設計プログラムのアンインストール（登録削除）の前に License-JR のアンインストール（登録削除）を実施しないでください。設計プログラムのアンインストール時には License-JR が動作している必要があります。

### 1) 各設計プログラムの登録削除とアンインストール

- ① 提供されたプログラム(設計プログラム名・バージョン)\_InstPack\_(提供日).EXE を起動してください。（画面は JRSNAP）



- ② 起動した画面に「ユーザーID」、「パスワード」、及び「ライセンスコード」を入力してください。

【フローティングライセンス】 ライセンス番号証明書 (お客様用)

プログラムシリアル番号	8
ユーザーシリアル番号	26
ライセンス発行日	2012/8/3
ライセンス数(起動可能数)	5
インストール可能数	000

**ライセンス番号**  
 X Y 0 3 5 3 0 - X 9 q 1 a 9 9 - 1 2 j J 0 0 9 - a w e f G 8 1

ユーザーID: X Y 0 3  
 パスワード(12桁): 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2

注意すべき文字  
 0: オー 0: オー  
 1: エル 1: イチ

製品名	購入ソフトウェア
フローティングライセンス管理ツール	-
JRSNAP【静的非線形解析プログラム】	-
Input~JR【データ入力ツール】	-
Output~JR【結果・検索・整理ツール】	-
Soil~JR【地盤反力特性算定プログラム】	-
ReDisp~JR【応答変位法支援プログラム】	O
LlJudge~JR【液状化判定プログラム】	-
JRElastic【地震時以外設計プログラム】	-
JRBOX【開閉トンネル設計プログラム】	-
JRCS【ケーソン基礎設計プログラム】	-
JREP【既土圧構造物設計プログラム】	-
JRKK【鋼管矢張井筒基礎設計プログラム】	-
-	-
-	-
-	-
-	-
プログラムダウンロードアドレス	ダウンロード時、最初のID/パスワード
<a href="http://www.jrsag.co.jp/software/support/">http://www.jrsag.co.jp/software/support/</a>	0 / 0
ライセンス番号(コピー用)	パスワード(コピー用)
XV03S30 X9q1a99 12J009 aweFG81	123456789012

① 上記または右下欄の「ライセンス番号」、「パスワード」を設計プログラムインストール時に入力してください。  
 (右下欄の番号をコピー&ペーストで入力されると入力ミスを防ぐことができます。)  
 ② ライセンス番号登録時、大文字、小文字は区別されず。  
 ③ ダウンロード用のID/パスワードはライセンス発行から最長で3ヵ月、またはバージョンアップ版が販売されるまでの期間中で有効です。  
 ④ オプションプログラムの購入・変更する場合は、本頁上欄の宛先までご連絡下さい。

本証明書は、お客様の使用権を証明するものであり、お客様は本証明書により該当する契約条件に従い、この製品を使用することができます。

担当者  
 株式会社 ジェイアール総研エンジニアリング  
 〒185-8500  
 東京都国分寺市光町2-8-38 別館124室  
 営業: TEL:042-501-2603 FAX:042-572-9568

【ライセンス管理システム】 サーバー登録と登録削除

JRSNAP【静的非線形解析プログラム】 Ver.6.0-LO1

パスワード: [ ] ユーザーID: [ ]

ライセンス番号: [ ]

メッセージ:

コピー&ペーストで入力する場合はこちらを使用してください。

- ③ 入力が完了したら、「サーバー登録削除とアンインストール」ボタンを選択してください。

【ライセンス管理システム】 サーバー登録と登録削除

JRSNAP【静的非線形解析プログラム】 Ver.6.0-LO1

以下を入力してください  
 パスワード: [ ] ユーザーID: [ ]  
 ライセンス番号: [ ]

② 入力して下さい。

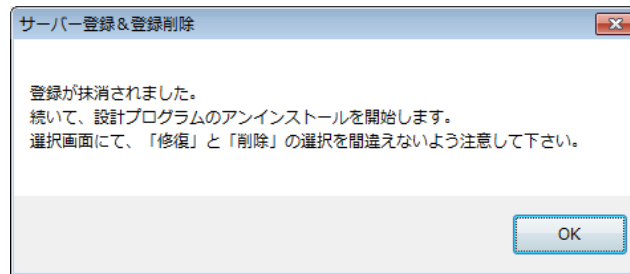
情報表示  
 メッセージ:

サーバー登録とインストール  
 サーバー登録削除とアンインストール  終了

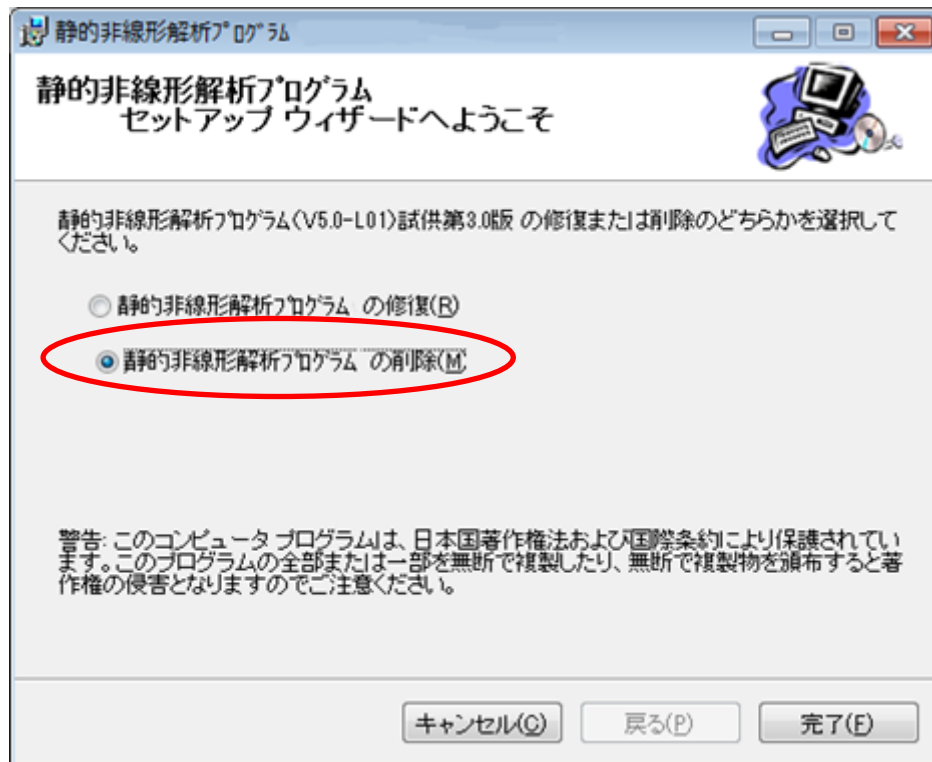
③ 選択して下さい。

※注意事項  
 ・設計サーバーの登録にはPCを特定するための情報を選択しますが、登録時個人情報を入力せず登録して下さい。  
 ・ライセンスサーバーへ送付する内容はSSLにより暗号化されています。  
 ・同一PCで、ユーザーが異なる設計プログラムをインストールしないでください。  
 ・設計プログラムには選択後無効になります。  
 ・PCのLAN構成の変更(LANカードの交換等)を行う前、必ず「サーバー登録削除」を実行してください。  
 ・送信された情報は設計プログラムの管理、運用の管理への案内等を含む以外に使用しません。

- ④ 情報の削除が完了しましたら引き続き設計プログラムのアンインストールを行います。以下の画面が表示されましたら、「OK」をクリックしてください。

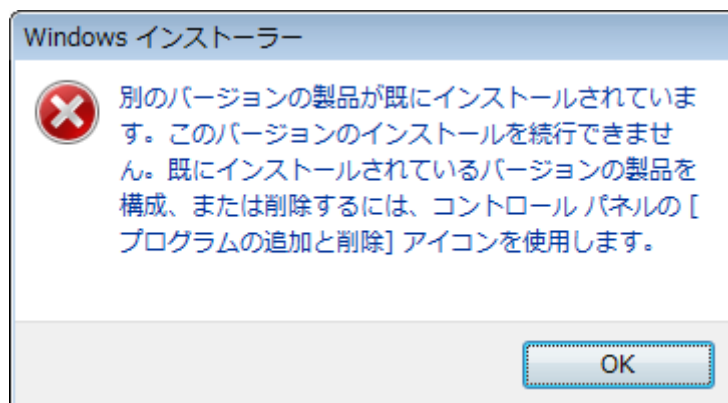


- ⑤ セットアップウィザードが起動しましたら、以下の画面で、「削除」を選択した後に「完了」をクリックしてください。（起動直後は「修復」が選択されています。）設計プログラムの削除が開始されます。



ソフトウェアによっては以下の画面が表示されることがあります。

（JRSNAP Ver.5.1、 VePP シリーズ等）その場合は、先の手順にて「登録が抹消されました」のメッセージが表示されたことを確認の後にコントロールパネルより設計プログラムを削除してください（削除をやり直す必要はありません）。

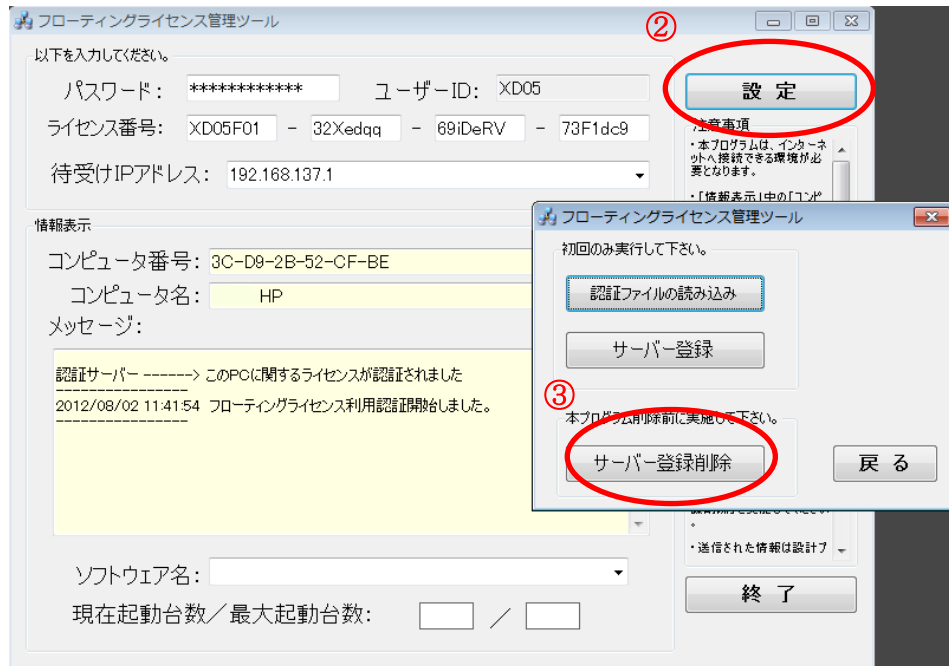


注意)

上記のメッセージが表示されない場合の設計プログラムの削除は Windows のコントロールパネルから実施しないでください。上記手順で削除していない場合は、認証サーバー上の登録情報が残ったままになりますので、ライセンス上限により別 PC へ設計プログラムをインストールできなくなります。

## 2) License-JR の登録削除とアンインストール

- ① License-JR を起動してください。
- ② 「設定」ボタンを選択してください。
- ③ 「サーバー登録削除」を選択してください。



上記で License-JR の登録情報が削除されます。

- ④ License-JR のアンインストールは Windows のコントロールパネル「プログラムのアンインストール」(Windows7 の場合) から「License-JR 管理ツール」の削除を実施してください。

## 6. License-JR のバージョンアップ

以下は設計プログラムの追加が無い場合です。(License-JR のライセンス番号に変更が無い場合)

- ① License-JR をバージョンアップする際は、旧バージョンをアンインストールしておく必要があります。
- ② アンインストールは、Windows の「コントロールパネル」-「プログラムのアンインストール」から行なってください。
- ③ アンインストールの前に、License-JR の画面にある「設定」-「登録削除」を行う必要はありません。
- ④ 新しいバージョンをインストールした後も、指示がない限り「設定」以下の処理は必要ありません。

バージョンによっては、インストールプログラムからのアンインストール→インストールの手順が必要になる場合があります。別途指示がありましたら、そちらを優先してください。

## 7. 設計プログラムの追加（ライセンスの追加）

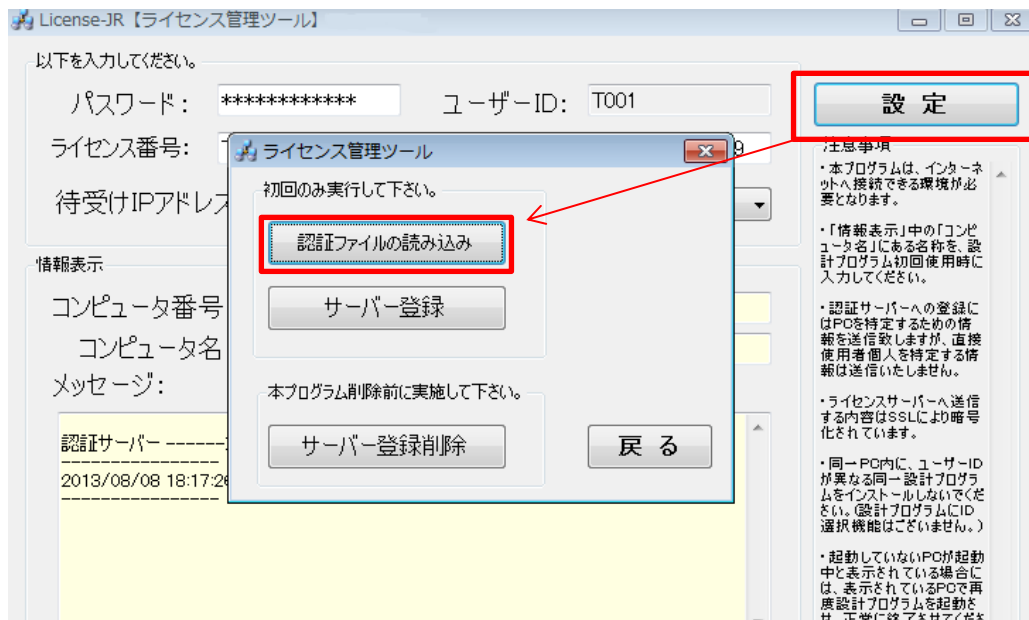
後日、設計プログラムを追加購入した場合は、新しく提供します認証ファイルを読み込む必要があります。なお、手順 1)~5)は追加する設計プログラムをインストール前に1度だけ実施して下さい。

### 注意)

- VePP シリーズ、VePP-SC を新規または追加された場合は License-JR Ver.2.0-L01B 以上が必要です。これ以下のバージョンを使用されている場合は先に License-JR のバージョンアップが必要です。手順は「6.License-JR のバージョンアップ」を参照してください。
- VePP-Retrofit を新規または追加された場合は License-JR Ver.1.0-L03 以上が必要です。これ以下のバージョンを使用されている場合は先に License-JR のバージョンアップが必要です。手順は「6.License-JR のバージョンアップ」を参照してください。
- Docu-SE を新規または追加された場合は License-JR Ver.2.0-L01B 以上が必要です。これ以下のバージョンを使用されている場合は先に License-JR のバージョンアップが必要です。手順は「6.License-JR のバージョンアップ」を参照してください。

### 手順)

- 1) License-JR を起動し、設計プログラムの利用者がいないことを確認して下さい。利用者がいる場合は利用を中止させてください。
- 2) License-JR のライセンス番号が変更されている場合は、画面に表示されているライセンス番号を修正してください。
- 3) License-JR の画面から「設定」→「認証ファイルの読み込み」を選択し、新しく発行された認証ファイルを読み込ませて下さい。



- 4) License-JR のライセンス番号が変更されている場合は「設定」→「サーバー登録」を実施してください。
- 5) License-JR を一旦終了し、再度起動して下さい。
- 6) 追加された設計プログラムをインストールしてください。

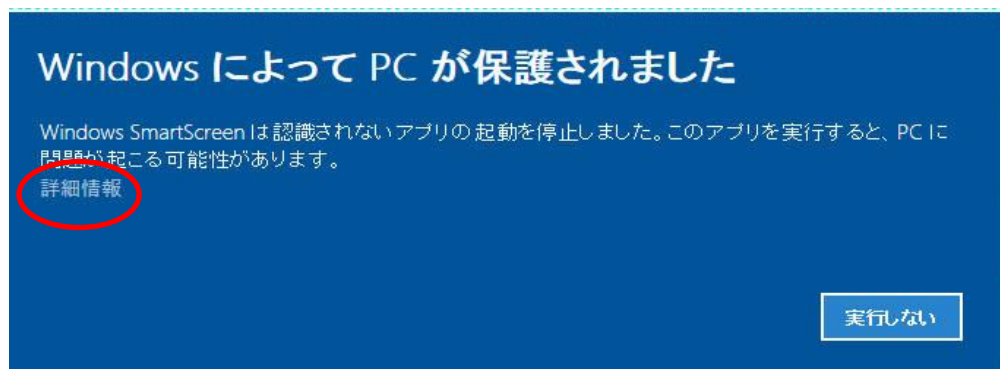
設計プログラムのインストールは「4.初めてのインストール・再登録手順」

「2)各設計プログラムのインストール」を参照してください。

注意) JRSNAP のオプションが変更された場合は、インストール済みの JRSNAP の再インストールが必要になります。

## 8. プログラム使用時の注意

- 1) 設計プログラム等をインストールや使用中に以下のメッセージが表示される場合があります。



この場合は、左中央にある「詳細情報」を選択すると、画面右下の「実行しない」左側に「実行」が表示されますので、そこで「実行」を選択して、処理を続けてください。

- 2) PC を再起動すると設計プログラムが認証されなくなることがありますので、以下を参考に「ランダムなハードウェアアドレスを使う」を **OFF** にしてください。



「設定」 - 「ネットワークとインターネット」 「Wi-Fi」 -  
「ランダムなハードウェアアドレス」 - 「オフ」

- 3) 設計プログラム側で「ライセンス管理 PC(XXXX)へ接続出来ません。」と、表示される場合、エクスプローラーの「ネットワーク」一覧を参照し、対象 PC が表示されていることを確認してください。

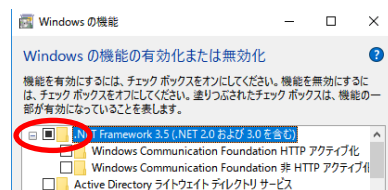
表示されていない場合は、Windows11 の「設定」 -  
「ネットワークとインターネット」 - 「ネットワークの詳細設定」 -  
「共有の詳細設定」 - 「ネットワーク探査」 を  
ON にしてください、

- 4) WindowsUpdate 実行後に起動しなくなることがありますが、その場合、以下を参考にイーサネットアダプタを見直して下さい。

「設定」 - 「ネットワークとインターネット」 - (ネットワークの詳細設定)  
「アダプターのオプションを変更する」 - 「v Ethernet」 を無効にする。

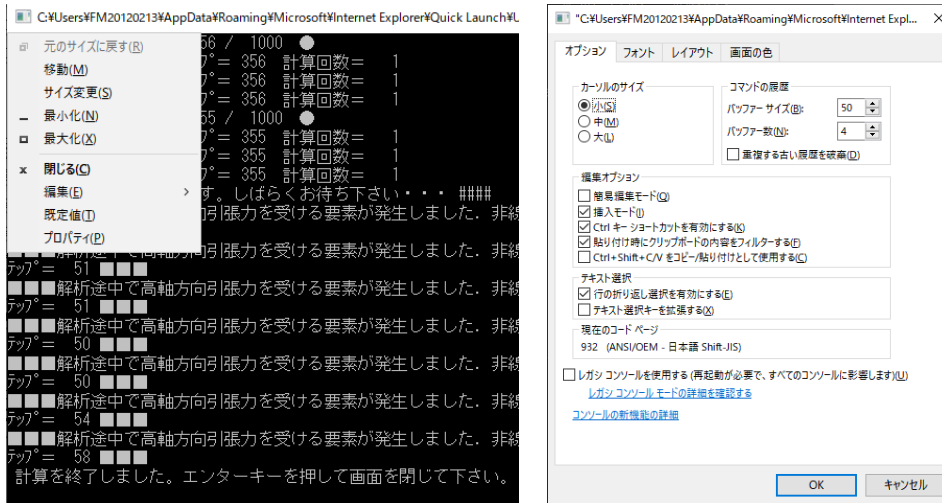
- 5) 以下を参考に、.NET Framework3.5 を有効にしてください。

「コントロールパネル」 - 「プログラム」 - 「プログラムと機能」 - 「Windows の機能の有効化または無効化」 - 「.NET Framework3.5(.NET2.0 および 3.0 を含む)にチェック(■)



- 6) 計算途中 (黒いウインドー)、ウインドー内をマウスで選択した場合、計算が一時停止する事があります。一時停止した場合は、Enter キーを押して再開してください。また、以下の設定で一時停止しないようすることも可能です。

- a) 「計算が終了しました。エンターキーを押して画面を閉じてください。」の状態から、左上のアイコンを選択して、プロパティを表示してください。  
b) 「編集オプション」 - 「簡易編集モード」 のチェックを外してください。



## 7) License-JR の自動起動

License-JR を、アカウントにログイン後に自動的に起動する方法は、以下を実施してください。ただし、以下の手順では、アカウントにログインしないと起動しませんので、注意してください。

### a) License-JR インストールフォルダー（デフォルト：C:\Program Files (x86)\JRSE\License-JR【ライセンス管理ツール】）を参照し、「License-JR.exe」の

ショートカットを作成してください。

### b) ショートカットファイルの右クリックから「プロパティ」-「ショートカット」

を選択し、リンク先に、以下を追加し、「OK」としてください。

"C:\Program Files (x86)\JRSE\License-JR【ライセンス管理ツール】\License-JR.exe" -TRAYIN

### c) Windows の「コマンドプロンプト」にて、以下を実行して下さい。

```
start shell:startup
```

### d) 上記実行後、スタートアップフォルダーが開かれますので、そこに先に作成したショートカットファイルをコピーしてください。

## 8) 解析時の黒い画面が出てこない場合、Visual C++ 再頒布可能パッケージをインストールする事で改善する事があります。

### ・JRSNAP Ver.5.1-L09 以前

Visual Studio 2012 更新 4 の Visual C++ 再頒布可能パッケージ (x86 版：V\$U4\vc\_redist\_x86.exe)をインストールする

### ・JRSNAP Ver.5.1-L09A 以降

Visual C++ 2015 ランタイムライブラリ(x86 版：vc\_redist.x86.exe)をインストールする

### ・追加以下が必要な場合があります。

Microsoft Visual C++ 2010 Service Pack 1 再頒布可能パッケージ (x86 版：vc\_redist\_x86.exe)をインストールする

## 参考) Windows ファイアーウォール設定画面の呼び出し方

「コントロールパネル」→「システムとセキュリティ」→「Windows Defender ファイアーウォール」→「アプリに Windows Defender ファイアウォール経由の通信を許可する」

以上